

平成 30 年 11 月 28 日

各 位

会社名 株式会社新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)

投資信託・マーケット情報ページの刷新および「QUICK ファンドスコア」の提供開始について ～客観的なファンド評価指標として「QUICK ファンドスコア」を国内銀行で初めて提供～

当行は、平成 30 年 11 月 28 日より、当行のウェブサイトにて個人のお客さま向けに提供している投資信託・マーケット情報ページを全面的に刷新^{※1}するとともに、長期投資にふさわしいかどうかを多角的に分析した「顧客本位」のファンド評価指標である、株式会社 QUICK(東京都中央区、代表取締役社長 近藤勝義、以下「QUICK」)による「QUICK ファンドスコア」^{※2}の提供を開始します。

当行では、「顧客本位の業務運営に関する取組方針」^{※3}ならびにアクションプランとその実施状況^{※4}を定期的に発表しており、本件はこれらの方針に沿った業務運営のうち「お客さまの最善の利益」と「重要な情報の分かりやすい提供」を実現するためのアクションプランの実行として取り組むものです。

具体的には、投資信託・マーケット情報サイトにおけるファンド検索機能の UI(ユーザーインターフェース)を向上させ、銘柄比較機能や個別ファンド情報を分かりやすく表示することで、お客さまにとっての UX(ユーザーエクスペリエンス)を高めます。また、投信積立においては、過去の運用成績などのトラックレコードを参照することで、実際の投信銘柄を使ったシミュレーションが可能になります。

さらに、お客さまが客観的かつ多角的に分析するための参考指標として、金融情報に関する高い専門性を有する QUICK が開発した「QUICK ファンドスコア」を提供します。「QUICK ファンドスコア」の提供は、個人のお客さまに投資信託を販売する国内銀行としては当行が初めてです。今後、お客さまへの「分かりやすい」、「比較しやすい」情報提供を追求していく取り組みの一つとして、当行の店舗で使用するチラシやパンフレットなどにも「QUICK ファンドスコア」を掲載していく予定です。

当行および当行グループ会社は、「国内外産業経済の発展に貢献し、お客さまに求められる銀行グループ」、「透明性の高い経営を志向し、お客さま、投資家の皆さま、従業員などすべてのステークホルダーを大切にし、また信頼される銀行グループ」を目指すことを経営理念に掲げています。これからも「お客さま本位の業務運営姿勢を貫き、お客さまの大切な資産形成のお役に立つ」ことの重要性をあらためて認識し、顧客本位の業務運営を徹底することで、社会・経済の持続的な成長・発展に貢献していきます。

※1 [投資信託・マーケット情報ページ刷新に関するご案内について](#) (本件に関するご案内ページ)

※2 「QUICK ファンドスコア」は、お客さまにとって長期投資にふさわしいかどうかを多角的に分析した「顧客本位」のファンド評価指標です。詳細は[株式会社 QUICK のウェブサイト](#)をご参照ください。

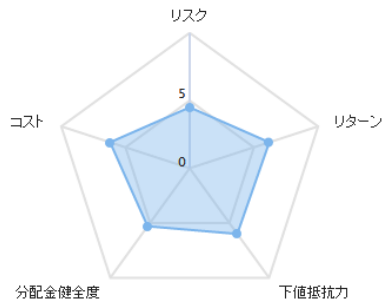
※3 [平成 29 年 6 月 23 日付「顧客本位の業務運営に関する取組方針」と「アクションプラン」の策定について](#) (当行ニュースリリース)

※4 [平成 30 年 6 月 29 日付「顧客本位の業務運営に関する取組方針」の「アクションプランの実施状況\(2017 年度\)」および「アクションプラン\(2018 年度\)」の公表について](#) (当行お知らせ)

【参考】

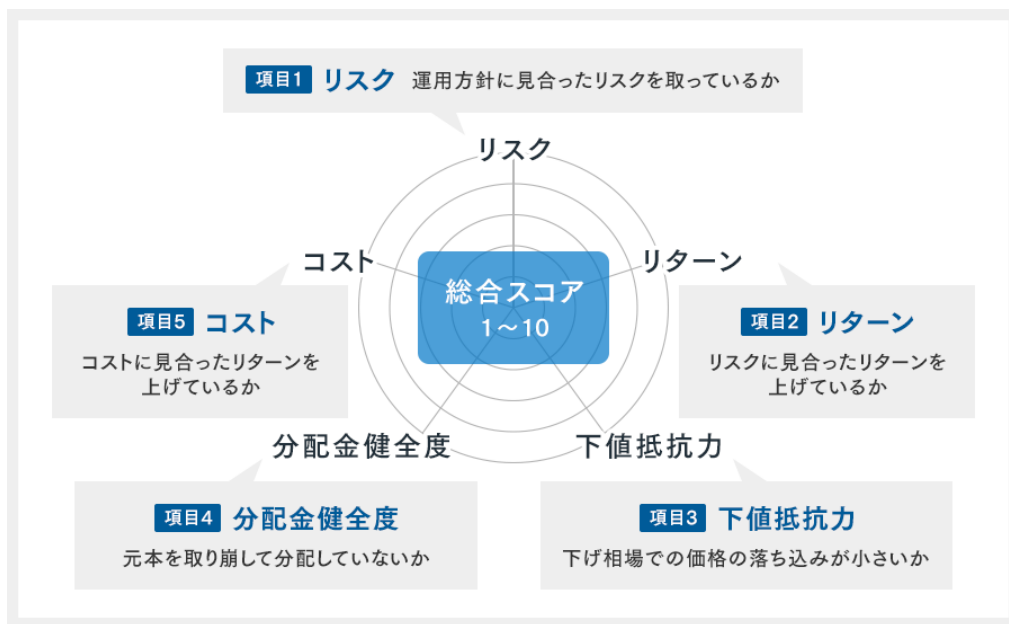
図 1:「QUICK ファンドスコア」の掲載イメージ

QUICKファンドスコア (中長期投資に適したファンドの評価)



リスク	4.5
リターン	6.2
下値抵抗力	6.0
分配金健全度	5.3
コスト	6.2

図 2:「QUICK ファンドスコア」の分析項目



以上